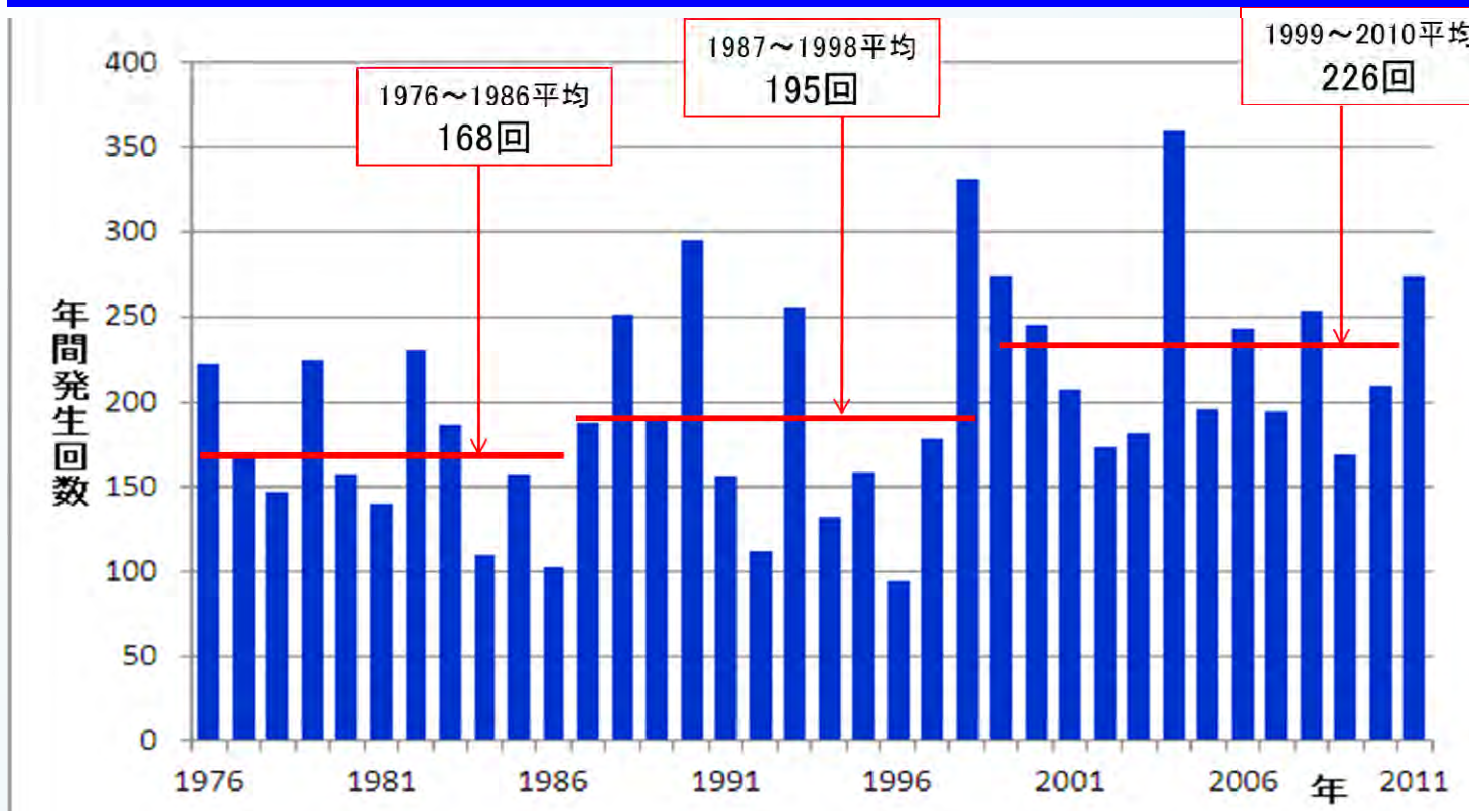


# 特別警報について

## 1時間降水量50mm以上の年間発生回数(全国)

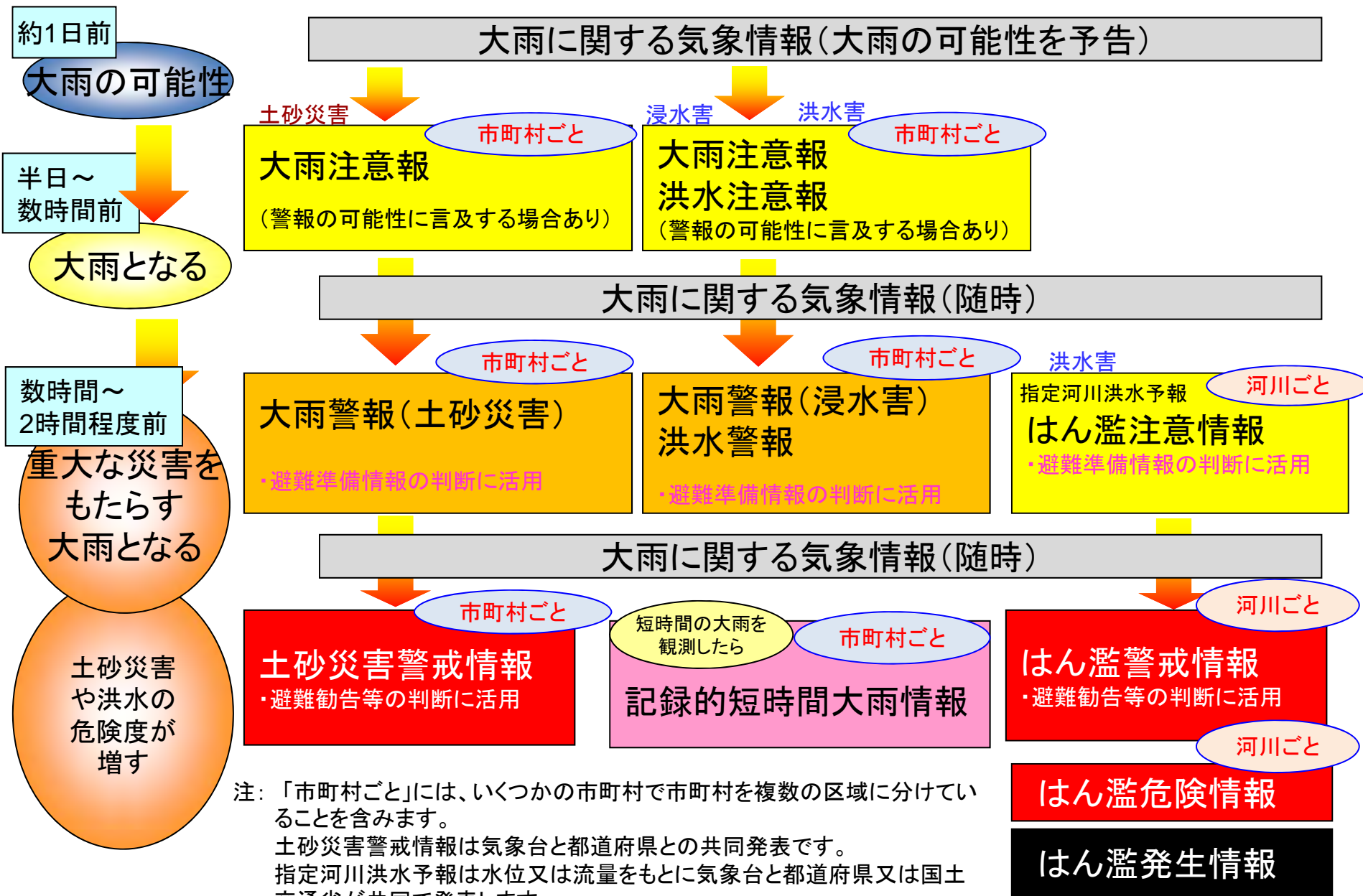


注① アメダスの地点数は、1976年当初は約800地点だったが、その後増加し2010年では約1300地点となっている。年による地点数の違いの影響を避けるため、1,000地点あたりの発生回数を比較している。山岳地域に展開されていた無線ロボット雨量観測所のうち、廃止された観測所は除外している。

注② 1時間雨量の観測データは、過去30年余りしかなく、地球温暖化のような長期的な気候問題との関連を論じるには、統計期間も短く、現時点でこの増加傾向が地球温暖化の影響によるものかどうかは明らかではない。

# 防災気象情報の発表の流れ

(都道府県や国土交通省との共同発表を含む)



# 気象庁が提供する防災気象情報(雨や風の場合)

## 警報・注意報

大雨や暴風などの気象現象によって重大な災害が起こるおそれのあるときに「警報」を、災害が起こるおそれのあるときには「注意報」を発表して警戒や注意を呼びかけます。

### ■警報の種類

暴風、暴風雪、大雨、大雪、高潮、波浪、洪水

## 気象情報

警報・注意報の発表に先立って注意を呼びかけたり、警報・注意報の内容を補完するために気象情報を発表します。

また、長期間にわたり社会的に大きな影響を与える天候についての気象情報も発表します。

## 特別警報

新設

重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

## 土砂災害

### 土砂災害警戒情報

大雨警報の発表中、土砂災害の危険度が高まった市町村に対して都道府県と気象庁が共同で発表します。

## 洪水災害

### 指定河川洪水予報

あらかじめ指定した防災上重要な河川に対して、国土交通省や都道府県と気象庁が共同で洪水予報を発表します。

## 突風災害

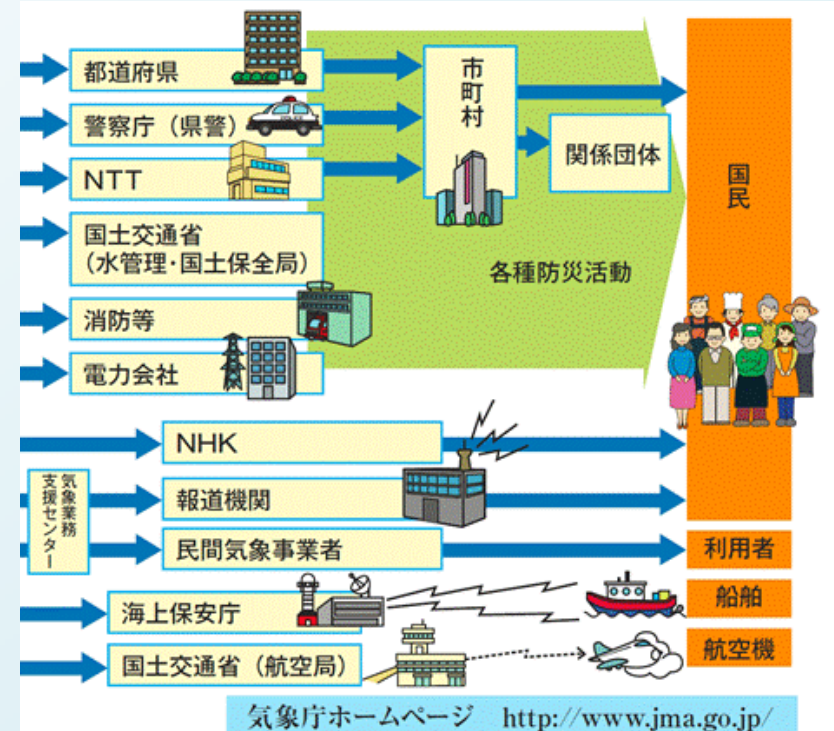
### 竜巻発生確度ナウキャスト 竜巻注意情報

竜巻など激しい突風の発生する危険な気象状況である場合に発表します。

## 局地的大雨

### 降水ナウキャスト 降水短時間予報

短時間に発達する降水の監視のため、降水ナウキャストや降水短時間予報を提供しています。



# 大雨が予想される時の防災気象情報

切迫度の高まりに合わせて、概ね次のタイミングで発表されます。

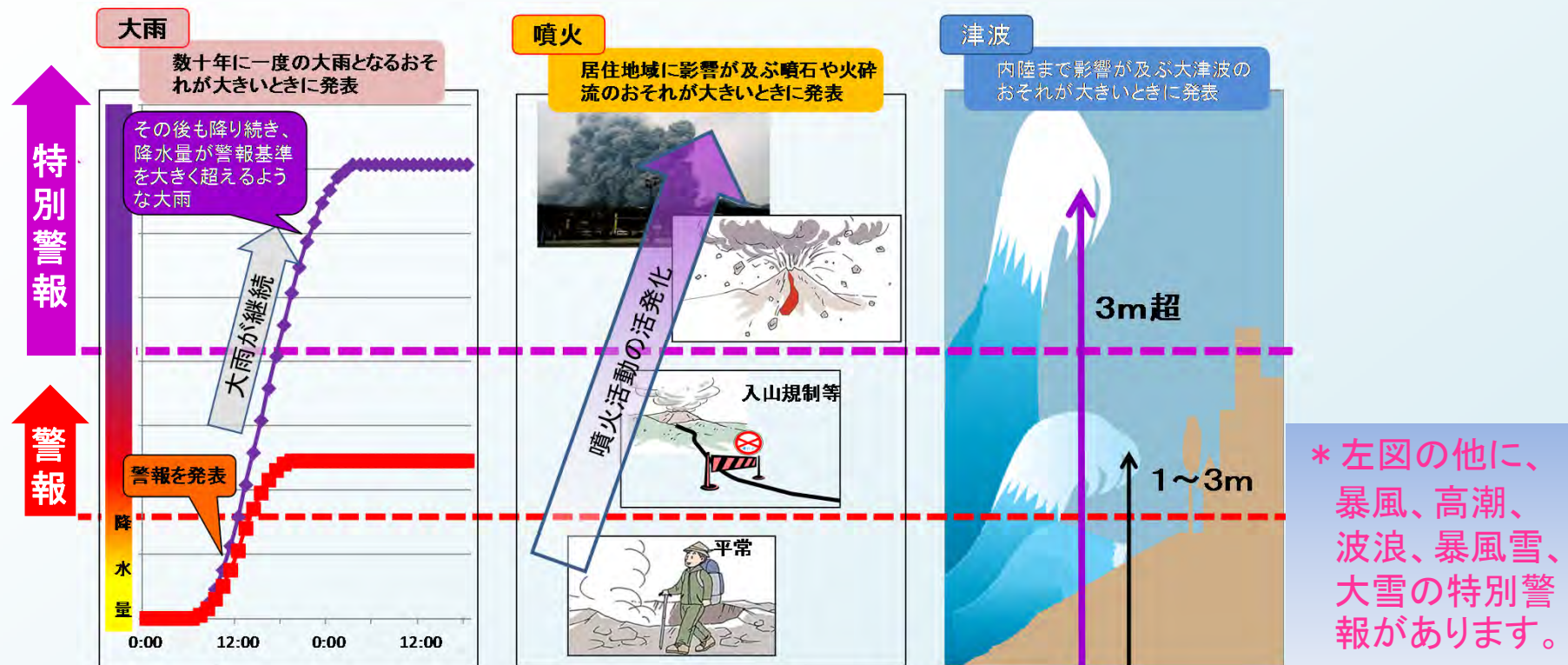
✓ は特に注目してほしい情報



・数年に一度の猛烈な雨を観測した場合には「記録的短時間大雨情報」を発表します。

# 新たに始まった「特別警報」とは

特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波など、数十年に一度しかないような非常に危険な状況のときに発表されます。



## 特別警報に相当する事例(気象)

- H24.7 九州北部豪雨(大雨)
- H23 台風第12号(大雨)
- S34 伊勢湾台風(大雨・暴風・波浪・高潮)
- S9 室戸台風(大雨・暴風・高潮・波浪)

- 死者行方不明者32人
- 死者行方不明者98人
- 死者行方不明者5,000人以上
- 死者行方不明者3,000人以上

# 特別警報運用開始の経緯

- 東日本大震災による津波や、平成23年台風第12号による紀伊半島を中心とする大雨では、極めて甚大な被害が出ました。
- これらの災害において、気象庁は警報をはじめとする防災情報により重大な災害への警戒を呼びかけたものの、災害発生の危険性が住民や地方自治体に十分には伝わらず、迅速な避難行動に結びつかない例がありました。
- 気象庁はこの事実を重く受け止め、災害に対する気象庁の危機感を伝えるために、平成25年8月30日から「特別警報」を運用することにしました。



平成23年 東日本大震災



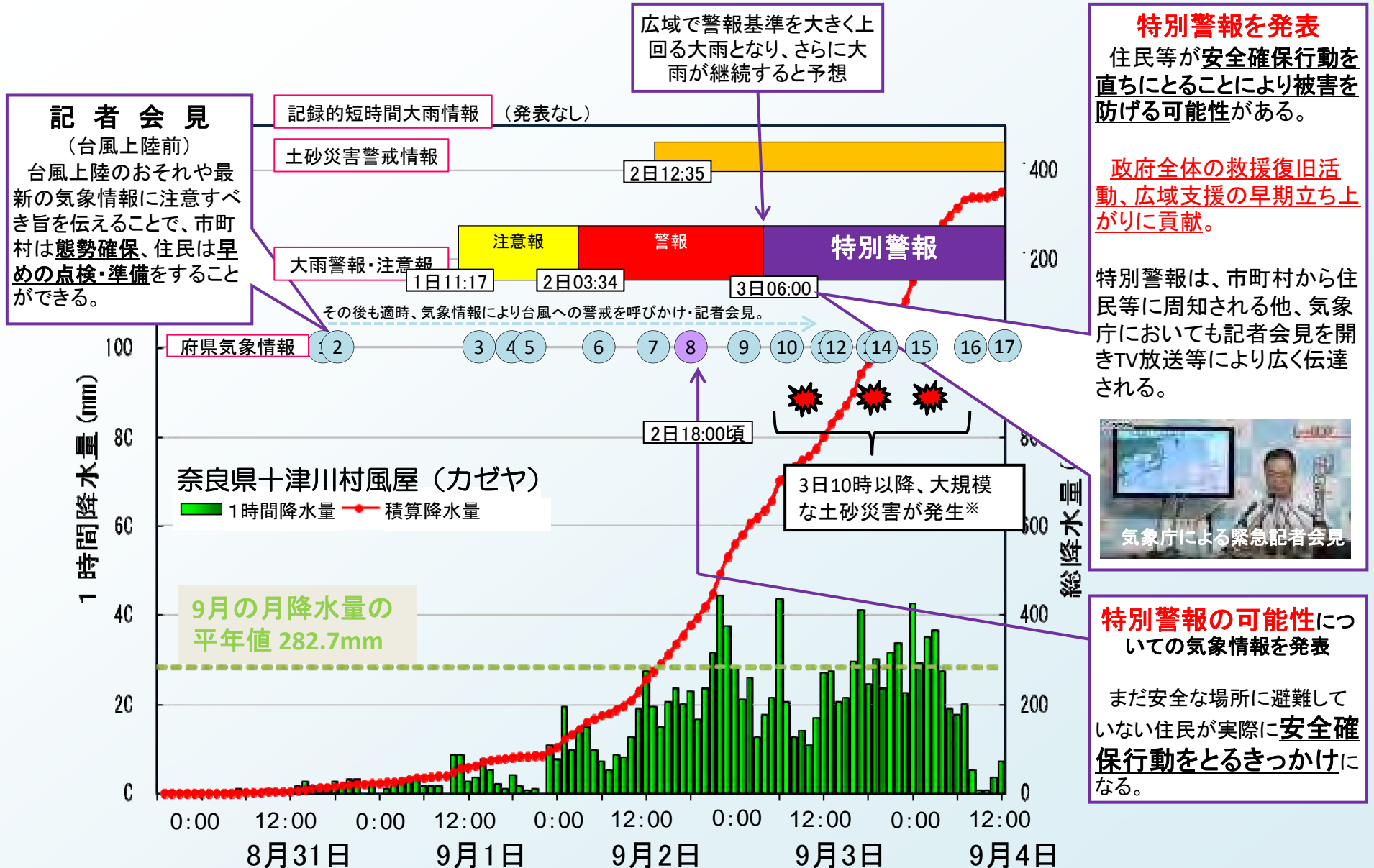
平成23年台風第12号

# 新たに始まった「特別警報」とは

## 気象警報等発表時における市町村や住民の対応例

気象警報等の種類									市町村の対応	住民の行動
大雨		暴風	高潮	波浪	暴風雪	大雪				
(土砂災害)	(浸水害)									
特別警報 (重大な災害の 起こるおそれ 著しく大きい)	土砂災害 警戒情報	大雨 特別警報 (土砂災害)	大雨 特別警報 (浸水害)	暴風 特別警報	高潮 特別警報	波浪 特別警報	暴風雪 特別警報	大雪 特別警報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>直ちに最善を尽くして身を守る</u> よう住民に呼びかけ</li> <li>・特別警報が発表され非常に危 険な状況であることの住民へ の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちに命を守る行動をとる(避 難所へ避難するか、外出する ことが危険な場合は家の中で 安全な場所にとどまる)</li> </ul>
警報 (重大な災害の 起こるおそれ)		大雨 警報 (土砂災害)	大雨 警報 (浸水害)	暴風 警報	高潮 警報	波浪 警報	暴風雪 警報	大雪 警報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>避難の呼びかけ</u></li> <li>・必要地域に避難勧告・指示</li> <li>・応急対応態勢確立</li> <li>・必要地域に避難準備(要援護 者避難)情報</li> <li>・避難場所の準備、開設</li> <li>・警報の住民への周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>早めの自主避難、又は市町村の 勧告・指示による避難</u></li> <li>・暴風警報については、安全な場 所に退避</li> <li>・日頃と異なったことがあれば、市 役所などへ通報</li> <li>・危険な場所に近づかない</li> <li>・避難の準備をする</li> </ul>
注意報 (災害の起こる おそれ)		大雨 注意報	強風 注意報	高潮 注意報	波浪 注意報	風雪 注意報	大雪 注意報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警戒すべき区域の巡回</li> <li>・注意呼びかけ</li> <li>・気象情報や雨量の状況を収集</li> <li>・担当職員の連絡態勢確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常持出品の点検</li> <li>・避難場所の確認</li> <li>・窓や雨戸など家の外の点検</li> <li>・テレビ、ラジオ、気象庁HPなどか ら最新の気象情報入手</li> <li>・気象情報に気をつける</li> </ul>	

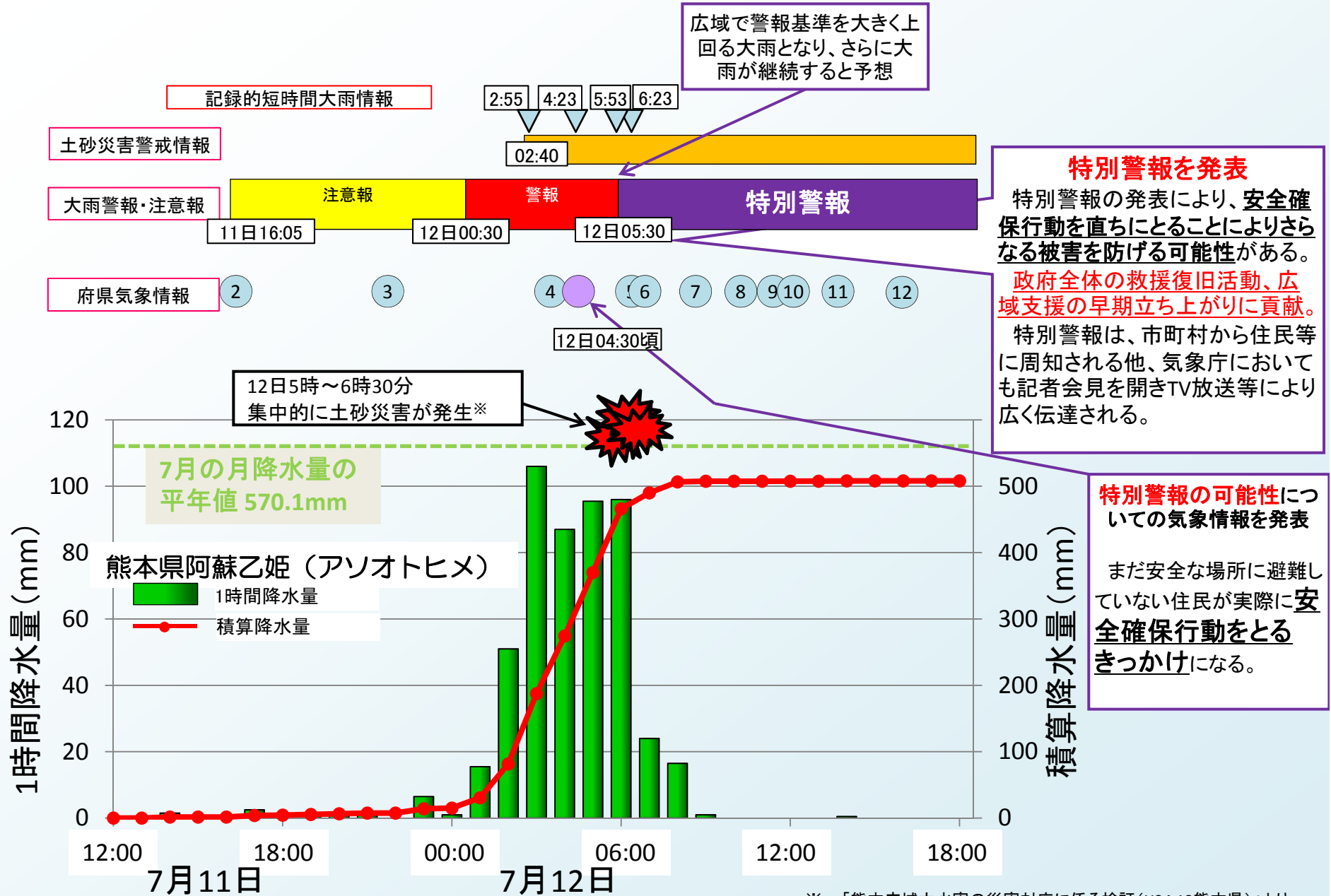
# 近年の災害と特別警報（その1）平成23年台風第12号



※：災害時の避難に関する専門調査会(第6回)参考資料2「平成23年 台風第12号に関する現地ヒアリング調査概要(内閣府)」より  
 3日09:58 上湯川(かみゆかわ)で土砂災害(1名死亡)、18:38 野尻(のじり)の村営住宅に異変との通報(2名死亡、6名行方不明)  
 4日未明 長殿(ながとの)地区で土砂災害、河川の増水による家屋の流出(3名死亡)



# 近年の災害と特別警報（その2）平成24年7月九州北部豪雨

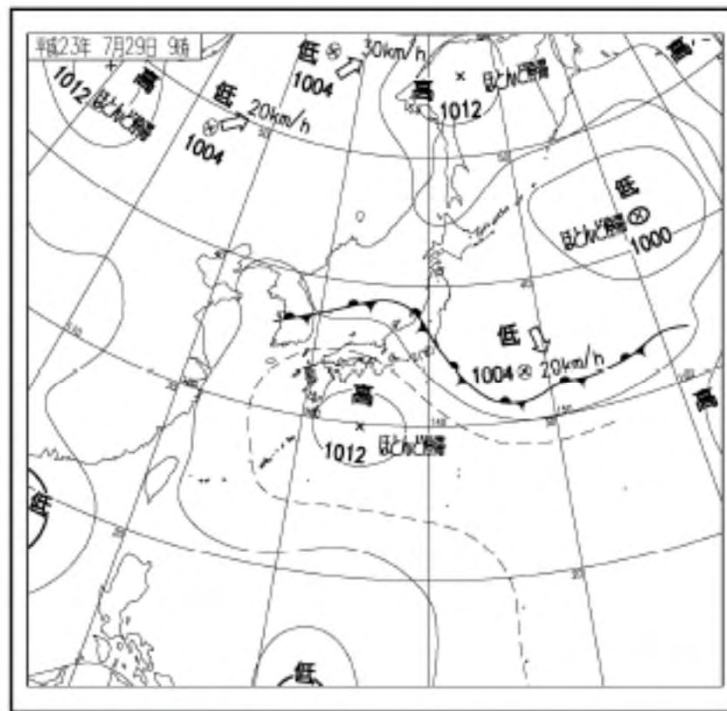


※：「熊本広域大水害の災害対応に係る検証（H24.12熊本県）」より

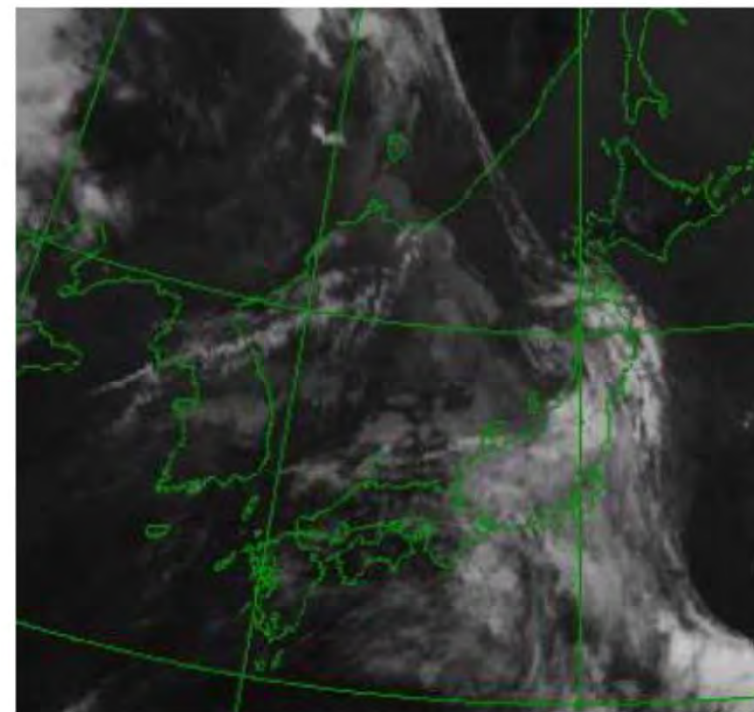
# 近年の災害と特別警報（その3）平成23年7月新潟・福島豪雨

## （1）気象状況

7月27日から30日にかけて、新潟県と福島県会津を中心に大雨となった。特に、28日から30日にかけては、前線が朝鮮半島から北陸地方を通して関東の東に停滞し、前線に向かって非常に湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となった。このため、新潟県と福島県会津を中心に記録的な大雨となり、新潟県では十日町で日最大1時間降水量の極値を更新する121.0ミリを観測するなど、局地的に1時間100ミリを超える猛烈な雨となった。また、27日00時から30日24時までの降水量は、加茂市宮寄上で626.5ミリとなった。

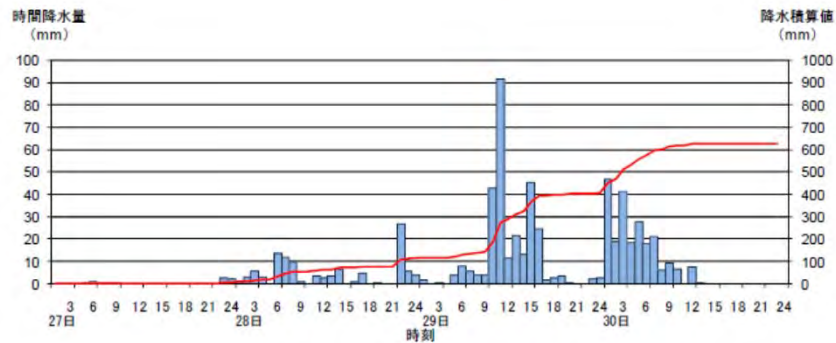


地上天気図 (7月29日09時)

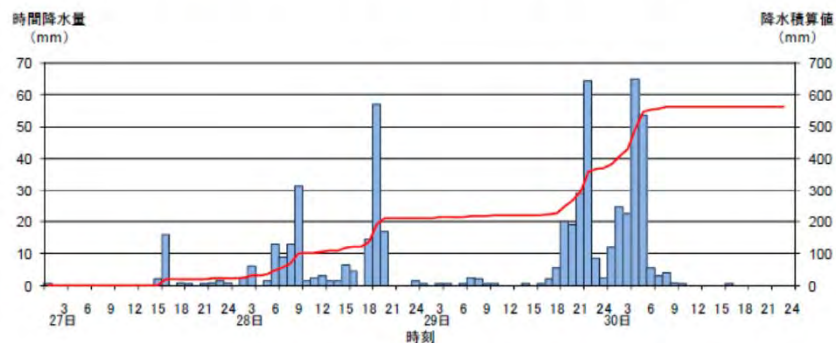


気象衛星赤外画像 (7月29日09時)

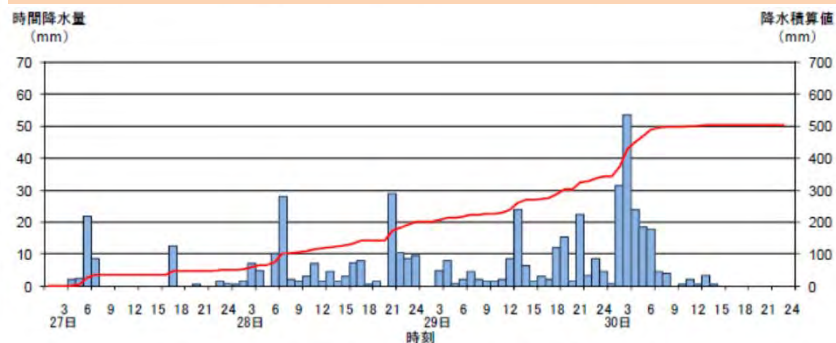
# 近年の災害と特別警報（その3）平成23年7月新潟・福島豪雨



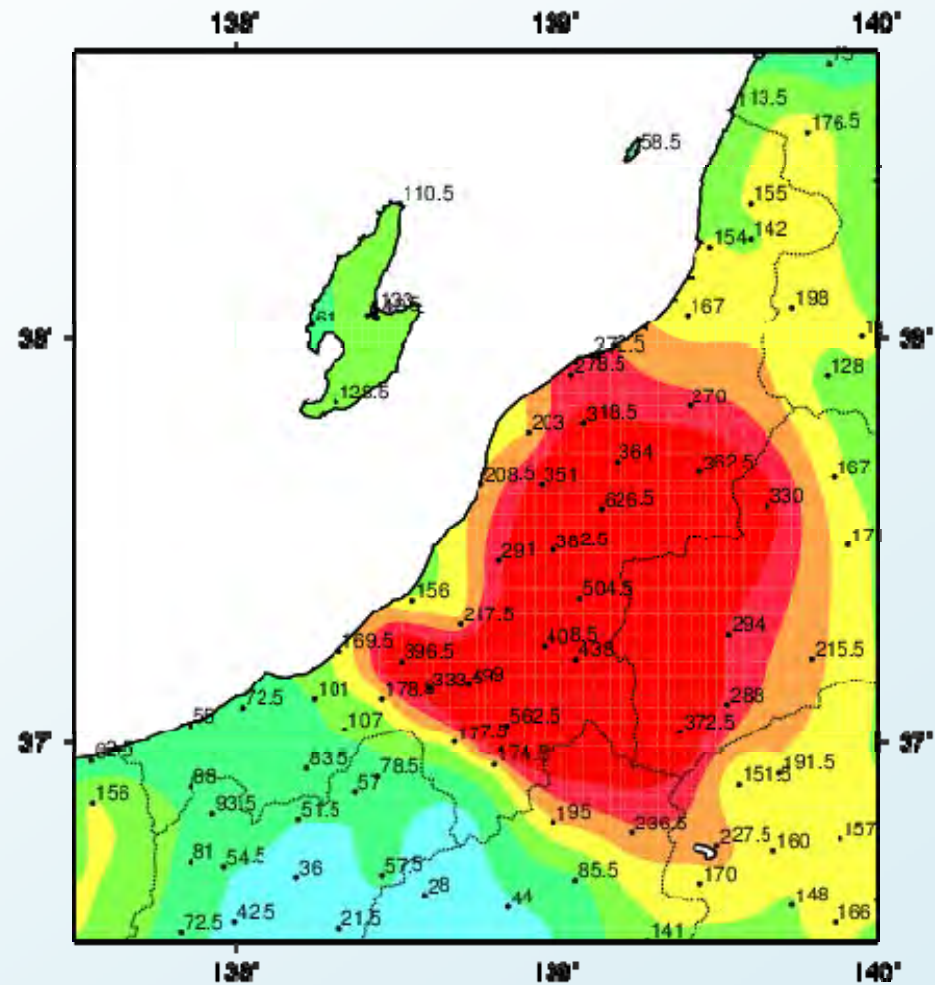
加茂市宮寄上: 7月27日00時から7月30日24時



南魚沼市塩沢: 7月27日00時から7月30日24時



魚沼市入広瀬: 7月27日00時から7月30日24時

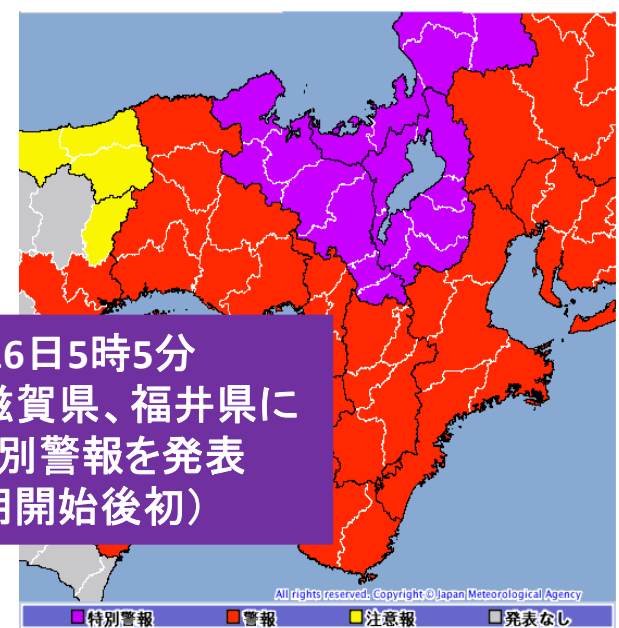
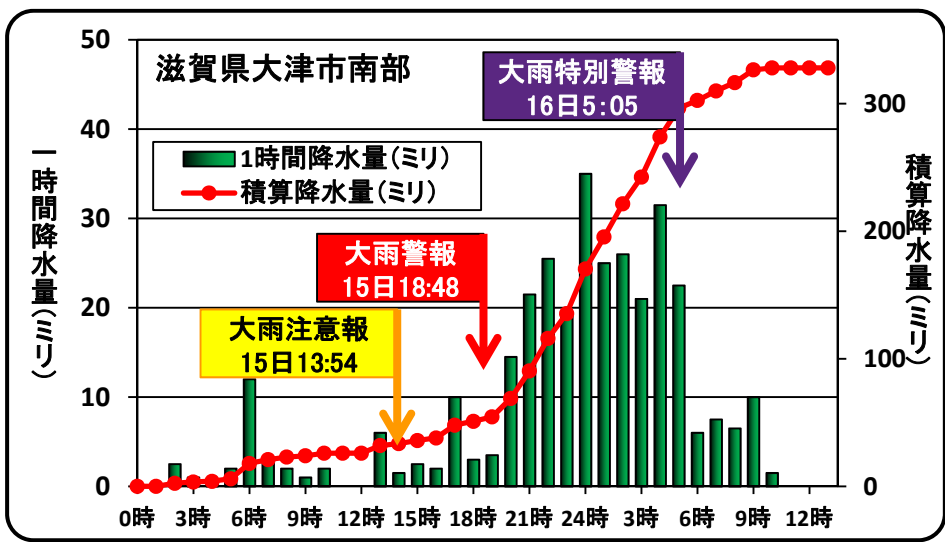


降水量分布図  
(7月27日00時～7月30日24時)

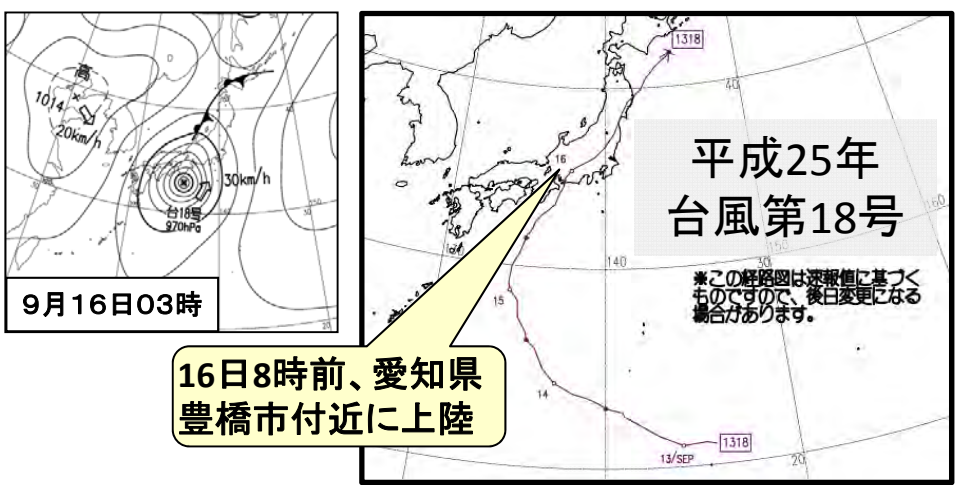
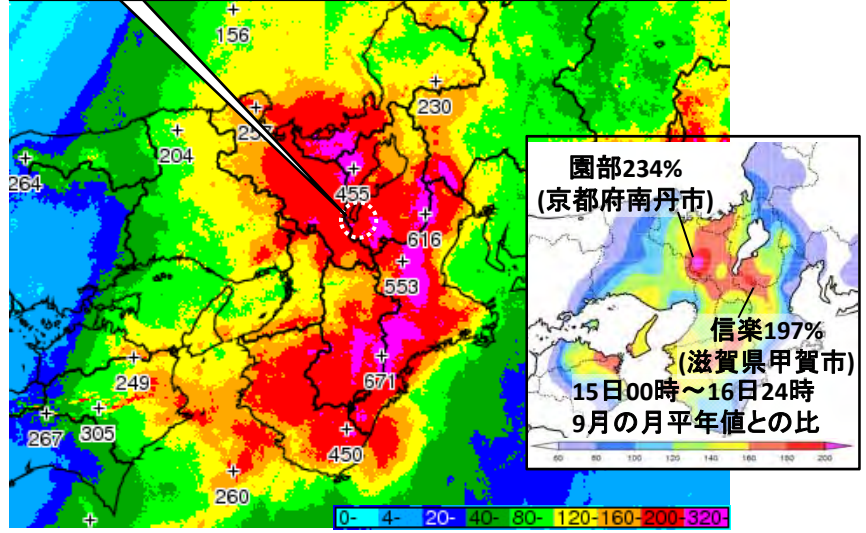
# 大雨の特別警報

(警報基準をはるかに超える異常な大雨)

数十年に一度の大量の大雨が広がる地域に  
**大雨特別警報**を発表します。



2013年9月16日18時までの24時間降水量(解析雨量)

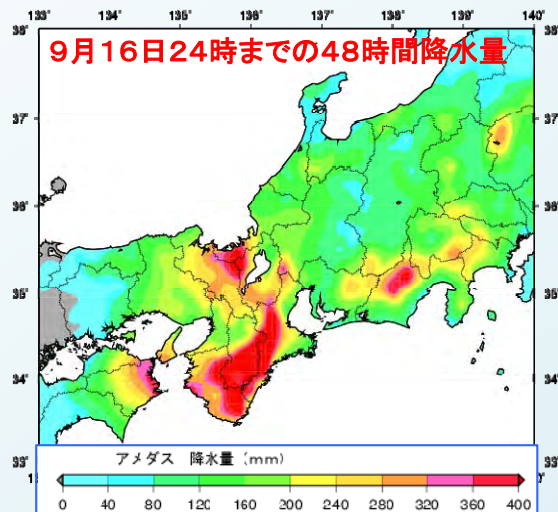
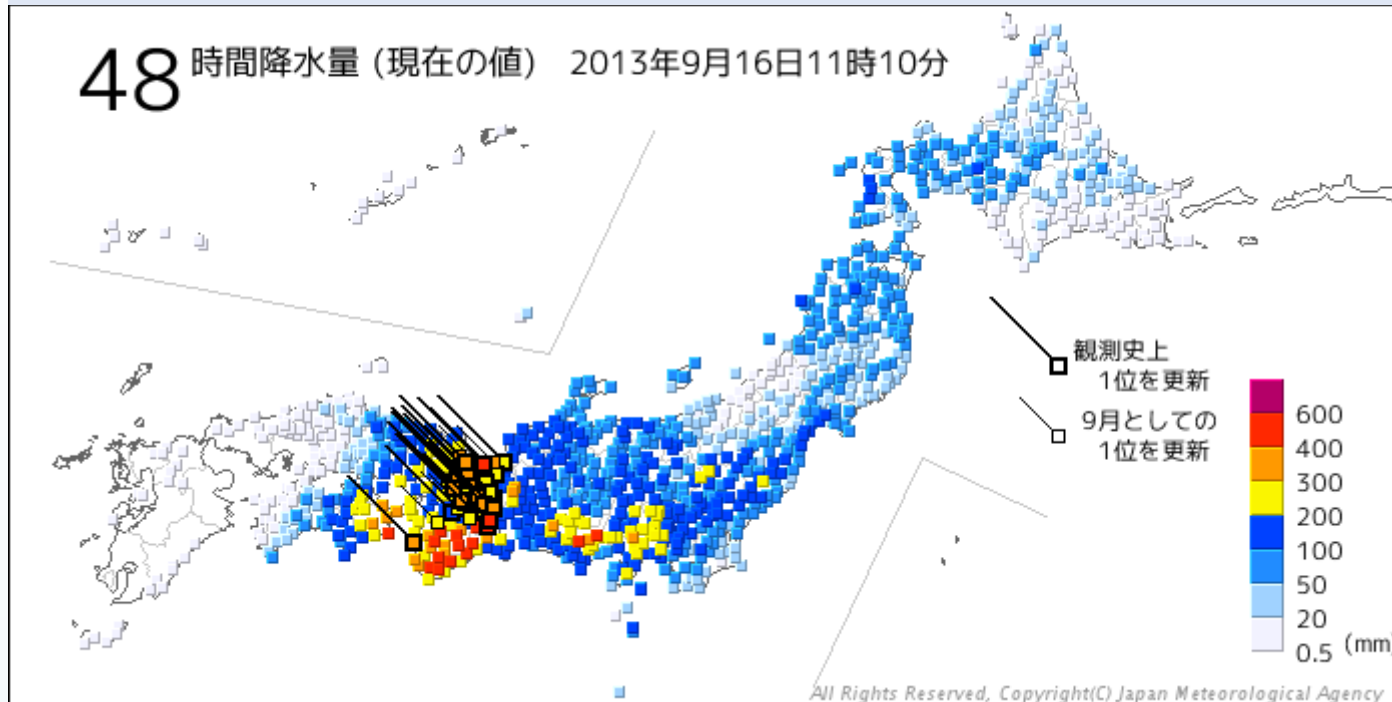


## 滋賀県、京都府、福井県に特別警報発表

- ・ 滋賀県、京都府、福井県に大雨特別警報を発表しました。
- ・ これらの地域では、これまでに経験のないような大雨になっており、今後も継続するおそれがあります。
- ・ ただちに命を守る行動を取ってください。
- ・ 避難勧告などの情報に留意し、ただちに避難所へ避難するか、外出が危険な場合は、家の中のより安全な場所にとどまってください。
- ・ 災害の経験のない地域でも、災害の可能性が高まっています。油断しないでください。

9月16日早朝に実施された気象庁の会見資料です

台風第18号が北上していた9月16日11時過ぎでは、48時間降水量が近畿地方を中心に観測史上1位を更新した地点、9月として1位を更新した地点が数多く見られました。(気象庁HPより)

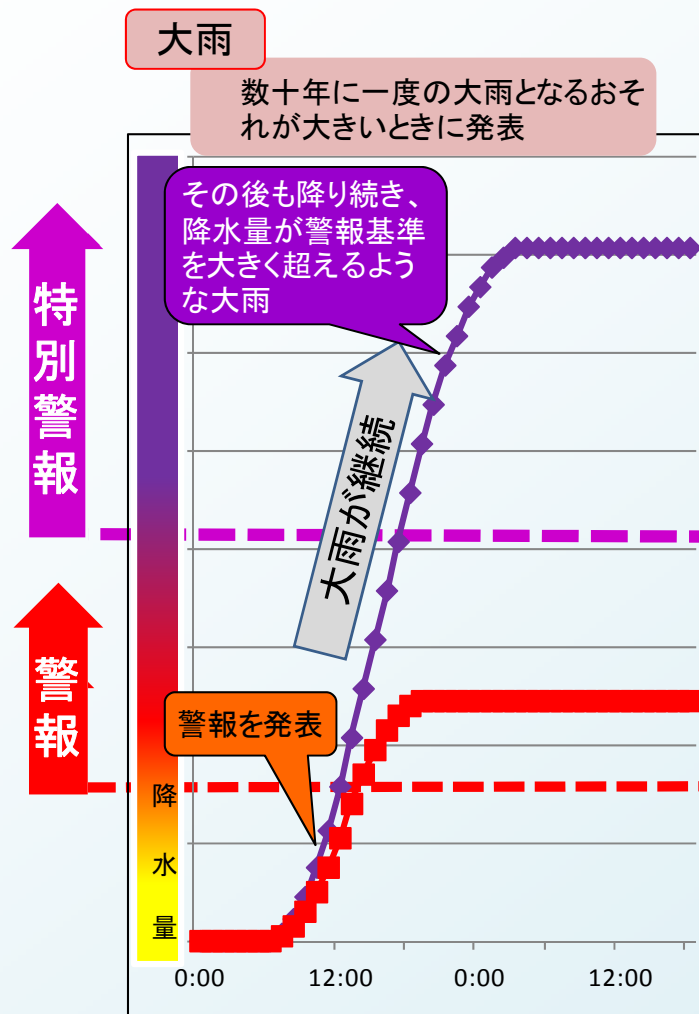


9月15日01時から16日24時  
までの総降水量

糸魚川市能生	192.5ミリ
津南	179.5ミリ
糸魚川市平岩	192.5ミリ
湯沢	164.0ミリ
南魚沼市塩沢	160.5ミリ

# 「特別警報」と「警報」の関係

「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。  
警報を軽視せず、特別警報の発表を待たずに早めの対応行動を！



## 特別警報の対象

- ・数十年に一度の大雨
- ・数十年に一度の強度の台風等



めったに起きない  
しかし、広域に甚大な被害！

## 警報の対象

- ・重大な災害のおそれ



たまに起きる  
その地域では甚大な被害！  
＝身近な災害！

# まとめ

- **防災気象情報を効果的に利用する**(大雨を中心に)
  - ・ 大雨の約1日前に気象情報が発表され、その後は切迫度にあわせて段階的に注意報、警報等が発表される。有効に活用を!
  - ・ 特別警報は、数十年に一度の非常に危険な時に発表される。
  - ・ 天気予報や概況に「雷」「急な大雨」「竜巻」といったキーワードがある時は、局地的大雨や激しい突風の可能性がある。
  - ・ ナウキャストを活用すると、市区町村よりも狭い領域(1~10km)での大雨や雷、激しい突風の危険性を把握できる。

## 特別警報について

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/index.html>

災害から身を守ろう ~今、あなたに知ってほしいコンテンツをそろえました~

[http://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu\\_portal/index.html](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu_portal/index.html)



経験したことの無いような大雨や暴風などが予想される時に、「特別警報」を発表します。



伊勢湾台風再現イメージ

命を守るために知ってほしい

# 特別警報

「特別警報」と聞いたら危険な場所から  
とにかく離れて命を守って!



地震や津波、火山噴火に関しては、今までの警報のより具体的な情報に基づいて「特別警報」と位置づけられます。ただし、再発は、今までどおりの名称で呼びます。



気象庁 特別警報 検索

数十年に一度の大雨などが予想された場合に  
特別警報を発表します

## 特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 (大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話: 03-3212-8341 FAX: 03-6689-2917(目の不自由な方向け)

気象庁ホームページ <http://www.jma.go.jp>

特別警報について <http://www.jma.go.jp/jma/kihou/now/tokubetsu-keiho/index.html>



おわり